

みなさん、こんにちは。長いと思っていた留学も半分以上が終わり、あと数日でアメリカに来てから半年がたちます。もちろん環境には慣れてきていますが、毎日未だにやるのがたくさんあって自分でも驚くほど忙しくしています。

特に、先月はミュージカルの練習が毎日放課後であって、本番直前は練習に4時間かけるほどだったので、家に帰ってすぐ寝る生活が続きました。全員の作品に対するエネルギーに圧倒されていましたが、いい刺激を受けられたと思います。今まで人前で歌うことも演技をすることもほとんどなかったので、オーディションを受けるのもためらっていました。しかし、いろいろな人とお互いを鼓舞しあって、初めはできなかったことを形にしていく過程はとても楽しいことに気づきました。自分のソロパートもたった数語しかありませんでしたが、声の大きさや歌のスキルがどんどん上がっていくのをいろいろな人に褒めてもらえたこともあり、自分の新たな長所を見つけられもしました。今まで話したことがなかった人と話す機会にもなり、これを通して自分の世界が広がっていることを実感しています。4日間の公演で計1000人ほどの観客を集めることができ、大成功でした。来年もミュージカルをするためにアメリカに戻ってきたいと思うぐらい、忘れられない充実した冬になりました。

一方、それと並行して授業のことを準備するのが一番大変でした。英語の授業ではアメリカの作家について2日にわたって計20分以上プレゼンをしました。ネイティブの前で英語で話し続けるのはまだ少し抵抗がありましたが、英語力が半年前と比べて伸びていることを確認できたので、これからも恐れずに発言してさらに伸ばしていこうと思う良いきっかけになったと思います。

また、吹奏楽の授業で代表に選ばれて、地域のHonor Bandの一日で4曲を完成させてコンサートに参加するイベントに参加しました。その4曲の中の1曲は嬉しいことに日本の曲、「八木節」でした。日本にいる家族や友人に聞いてもらえないのは残念でしたが、アメリカで演奏したことに大きな意義を感じます。初めて会う人と大きな会場で演奏できたこの経験は、私のこれからの演奏にもいい影響を与えてくれそうです。

他にも、ボランティアでいろいろな人のオーダーを英語で取ったり、初めてスノーボードに挑戦したり、凍った湖の上をドライブしたりするなど、この短い文章では紹介しきれないほどたくさん初めて挑戦したことがあった一か月でした。

路肩の雪が解け始めて、厳しいウィスコンシンの冬も終わりを迎えようとしています。春が来たらすぐ私の留学生活が終わってしまうので寂しい気持ちもありますが、一日一日をより充実した日にできるようにやることを増やしていきたいです。写真はスノーボードに行った時と凍った湖に行った時に撮ったものです。



次世代リーダー育成道場 10 期生、白鷗高校 14 期生 Y.K